

社側代表監原金作外一名、組合側大熊哲夫。松夫側横山五郎
外五名

一 交渉状況

社上金減額ハ惣括シテ會社側案ト勞働者側案トニ金額三十六
圓ノ差アルヲ等分シテ十八圓トシ仍ホ松夫ニ按合上端數トナ
ル五圓ヲモ會社側ヲ負擔シ合計二十三圓ニ讓歩ス
賃率引下ハ勞働者側三分ヲ要求、會社側八分ヨリ六分ニ讓歩
スニ妥協シテ四分ニ決定シ、
爭議中ノ交通費金一封貳十圓ヲ勞働者側ニ支給シ
、抵償書ノ通リ解決
、申(通)報候也

引状

賞書

東京田清林會社社務委員前ニ於ケル珍議ハ古記條件ニヨリ
内滿解次セシニ付賞書三通ヲ作成シ畜業者各々一通ヲ保持ス
ルニトス

一 社上金

旧七十三圓八五圓減額	六十八圓トス
六十五圓八三圓減額	六十二圓トス
六十一圓八一圓減額	六十四圓トス
五十八圓八一圓減額	五十七圓トス
五十五圓八五圓減額	トス

二 積債ハ旧賃率ト六月一日ヨリ改正提示ノ賃率トノ差一分
引ヲ以テ協定ス(至位ハ四拾五入)
右ニ項何レモ六月一日ヨリ實施ノ事